

## 令和7年度 第3回学校運営協議会 議事録

1 日 時 令和8年3月11日(水) 10:30~12:00

2 場 所 徳島県立板野支援学校 校長室

3 参加者 学校運営協議会委員(9名中1名欠席)

4 内 容

### (1) 学校評価について

- ・今年度の学校評価について、評価や課題について説明し、承認いただいた。
- ・人権教育課について、日々の教育が人権教育で、個に応じた指導を行っている、また教員自身の人権意識の向上を図るための研修が大切であるとのこと意見をいただいた。
- ・研究・自立活動課については、例えば肢体不自由の専門性も他の障がい種の学習効果にも繋がる。自立活動がベースになり教科学習の成果に繋がるので、障がい種にこだわらずに課として指標を持つことが専門性の向上に繋がるのではないかとご意見いただいた。
- ・特別支援課について、学校カウンセリングにおいて、カウンセリング技術は教員にも必要なのではないかと、もし学校心理師の資格を持っている教員がいれば、組織で生かしていくのもよいのではないかとご意見いただいた。
- ・保健課については、AEDの設置個数を増やすことや機器を扱えるよう備えておくことが大切であるにご意見いただいた。

### (2) 本校の主な取組について

- ・これまでご提案いただいた本校の取組(にんじんプロジェクト、金泉寺での梅の収穫とお接待、ノイマンドッグスクール見学、交流及び共同学習、地域での植栽、清掃活動等)について報告した。
- ・取組がとても良い形になってきている。次の展開の1つとして、板野支援の強みはたくさん児童生徒がいて人材が豊富であることことなので、アートにセンスを持っている児童生徒もたくさんいると思う。AI等も使いながら、アートのセンスを生かす取組を試みてはどうかとご提案いただいた。

### (3) 令和8年度の学校経営方針について

- ・校長より重点目標について説明し、承認をいただいた。
- ・校長よりそれぞれについて質的推進を図っていきたい旨を伝えた。委員よりこれまで〇パーセントで達成という数字の評価で議論することが多かったが、質という観点は良い。ただ評価という観点での難しさはあるかもしれない、どのように変化したかも大切だが、達成できなかったとき、次どうしたらよいか(費用、時間等の問題なのか検討)の把握がしっかりできていることが大切であるというご意見をいただいた。